



平成 23 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 筑 邦 銀 行  
 代 表 者 取締役頭取 佐 藤 清 一 郎  
 本 社 所 在 地 久留米市諏訪野町 2456 番地の 1  
 (コード番号 8 3 9 8 福証)  
 問 合 せ 先 取締役総合企画部長 東 暢 昭  
 (TEL 0942 - 32 - 5353)

平成 23 年 3 月期第 3 四半期 有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 23 年 3 月期第 3 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期における有価証券評価損

	単体	連結
(A) 平成 23 年 3 月期第 3 四半期会計期間(平成 22 年 10 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額 (=I - D)	189 百万円	186 百万円
(I)平成 23 年 3 月期第 3 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	398 百万円	398 百万円
(D)平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 22 年 4 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	209 百万円	212 百万円

注 1 四半期における時価のある有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

2 当行の決算期末は、3 月 31 日です。

3 有価証券の減損処理基準

- (1) 期末日(四半期末を含む。以下同。)における時価が取得原価に比べて 50%以上下落した銘柄については、一律減損処理しております。
- (2) 期末日における時価が取得原価に比べて 30%以上 50%未満下落した銘柄のうち、時価の回復可能性が認められないと判断した銘柄を減損処理しております。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B) 平成 22 年 3 月期末の純資産の額	27,774 百万円	30,511 百万円
(A) / (B) × 100	0.6%	0.6%
(I) / (B) × 100	1.4%	1.3%
(C) 平成 22 年 3 月期の経常利益額	844 百万円	1,044 百万円
(A) / (C) × 100	22.4%	17.8%
(I) / (C) × 100	47.2%	38.1%
(D) 平成 22 年 3 月期の当期純利益額	303 百万円	299 百万円
(A) / (D) × 100	62.4%	62.4%
(I) / (D) × 100	131.3%	133.2%

## 2. 今後の見通し

四半期における時価のある有価証券の減損処理につきましては、洗替え法を採用しているため、決算期末の時価等により有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

本件による平成23年3月期の業績予想(平成22年11月12日公表)に修正はありません。

(ご参考)当期業績予想(平成22年11月12日公表分)及び前期実績

連結

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
当期業績予想(平成23年3月期)	17,750	1,600	760
前期実績(平成22年3月期)	18,581	1,044	299

単体

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
当期業績予想(平成23年3月期)	12,600	1,380	750
前期実績(平成22年3月期)	13,454	844	303

本資料に記載されている予想数値は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。  
筑邦銀行 総合企画部  
電話 0942 - 32 - 5353